

平成 18 年 4 月 28 日

委員長コメント

【平成 18 年第 1 四半期】

- 1 今回の報告期間は平成 18 年 1 月 2 日から平成 18 年 3 月 26 日までの約 3 か月である。
法定報告に基づく新規 H I V 感染者報告数は 198 件（うち男性 174 件、女性 24 件。前回報告 195 件）で、前年同時期の新規 H I V 感染者報告数は 207 件である。
一方、新規 A I D S 患者報告数は 92 件（うち男性 84 件、女性 8 件。前回報告 89 件）で、前年同時期の新規 A I D S 患者報告数は 79 件である。
- 2 感染経路別に見ると、新規 H I V 感染者では同性間性的接触によるものが 127 件（全 H I V 感染者報告数の約 65%）と最も多く、そのうち 118 件が日本国籍男性であった。
また、異性間性的接触による新規感染者報告数は 47 件（全 H I V 感染者報告数の約 24%、うち男性 29 件、女性 18 件）である。
一方、新規 A I D S 患者では同性間性的接触によるものが 35 件（全 A I D S 患者報告数の約 38%）、異性間性的接触によるものが 29 件（全 A I D S 患者報告数の約 32%、うち男性 27 件、女性 2 件）となっている。
年齢別では、新規 H I V 感染者は 20～30 代が多数（約 77%）を占め、新規 A I D S 患者は 30～50 代と広く分布している。
要約すると、感染者・患者はともに男性が約 90%を占め、うち同性間性的接触による感染が約 63%を占めている状態である。
- 3 平成 18 年 1 月～3 月末までの保健所における H I V 抗体検査件数は 18,547 件（前年同時期 20,820 件）、自治体を実施する保健所以外の検査件数は 5,287 件（前年同時期 4,180 件）、保健所等における相談件数は 37,203 件（前年同時期 42,798 件）となっており、保健所においては検査件数及び相談件数が減少し、保健所以外の検査件数は増加した。
- 4 平成 18 年 1 月から 3 月の献血件数（速報値）は 1,227,759 件（前年同時期 1,310,191 件）で、そのうち H I V 抗体・核酸増幅検査陽性件数は 25 件、10 万人当たりの陽性人数は 2.036 件（前年同時期 1.832 件）であった。
前年同時期も陽性率が高かったが、今回も高値となった。
- 5 この四半期における新規 H I V 感染者報告数及び A I D S 患者報告数はいずれも前回報告を超え増加傾向にあるが、保健所における検査件数及び相談件数はいずれも前年同時期より減少し、保健所以外の検査が前年同時期よりも増加した。新規 H I V 感染者報告数を感染経路別に見ると、男性同性間性的接触は依然半数を超え、若年層にも H I V 感染が広がっている。この点を考慮し、国民は H I V・A I D S についての理解を深め、積極的に予防や H I V 抗体検査の早期受診に努めるべきである。更に保健所等を中心に、利用者の利便性（例えば時間帯など）に配慮した検査・相談事業を推進し、H I V 感染の早期発見による早期治療と感染拡大の抑制に努める必要がある。